

ライブラリー 図書館だより No.11

〒679-2215 福崎町西治360-1 福崎町立図書館

2007年4月発行

TEL. 22-3790 <http://www.library.town.fukusaki.hyogo.jp/>



100歳を迎えた現役の児童文学者 石井 桃子さん



編集者、翻訳家、作家として日本の児童文学を豊かに育ててきた石井桃子さん。だれもが100歳なんてとても思わないことでしょう。ミルンの「クマのプーさん」シリーズ。ポターの「ピーターラビット」シリーズ。ブルーナの「うさこちゃん」シリーズ等、誰もが一度は手にとってみたことがあるでしょう。100歳を迎えられた先生の作品に今一度あらためてふれてほしい。



リサイクルブックフェア

保存期間の過ぎた雑誌などの資料をお譲りいたします。

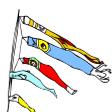
5月14日～ 資料がなくなるまで

1人 10冊まで

☆利用カードが必要です

図書館カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 えほんの じかん	3 資料 整理日	4	5 おたのし み会
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16 リサイクルブックフェア	17	18	19 おはな し会
20	21	22	23	24	25	26 映画会
27	28	29	30	31 		

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6 えほんの じかん	7 資料 整理日	8	9
10	11	12	13	14	15	16 おはな し会
17	18	19	20	21	22	23 映画会
24	25	26	27	28	29	30

 は、休館日です。

《裏面もご覧下さい》

おすすめの一冊

「ふくろうくん」アーノルド・ローベル

「ふくろうくん」は一人暮らしのふくろうくんの生活を描いた5つのショートストーリーです。しつこく戸をたたく「ふゆ」を家にまねきいれ大変な騒動になったり、もうふのしたに現れた二つの謎の物体に驚いたり…。一人なのになぜかにぎやかなふくろうくんの毎日は、ユーモラスであり、ほほえましくもあり、また何事にも真剣に向き合う姿に我が身を振り返って考えさせられます。読み聴かせでは、小さな子どもがとても面白がって声を出して笑ってもらえる絵本ですが、大人の方にも、大切な一冊として時折開いて楽しんでいただける優れた作品です。



アーノルド・ローベルは、「ふたりはいつも」「ふたりはいっしょ」などの、“かえるくんとがまくん”のシリーズが有名ですが、その他にも動物を主人公にしたたくさんのお話を書いています。図書館の絵本コーナーにも「アーノルド・ローベル」の棚があり、たくさん作品を置いていますので、ぜひ手にとって見てください。

【古きを知る】「家計簿の中の昭和」澤地 久枝



毎日の習慣として付け続けられた「家計簿」から昭和の生活を垣間見ることのできる作品です。日記ではないけれど、お金の出入りから当時の生活が想像でき、今の生活と同じ点、異なる点を楽しめます。

変わっていく生活の様子を、家計簿を通してみることで、「そうそう！このころは…」と懐かしく感じられる方も、当時の生活を新鮮に感じられる方もいらっしゃると思います。この本を通して世代の異なる方との会話を楽しまれてはいかがでしょうか。



2006年度 ベストリーダー

1	容疑者Xの献身	東野 圭吾	53回
2	佐賀のがばいばあちゃん	島田 洋七	46回
3	子育てハッピーアドバイス	明橋 大二	45回
4	ダ・ヴィンチ・コード	ダン・ブラウン	44回
5	東京タワー	リリーフランキー	42回
6	その日のまえに	重松 清	42回
7	るるぶ兵庫		39回
8	生協の白石さん	白石 昌則	38回
9	国家の品格	藤原 正彦	32回
10	小さな家の心地のいい部屋づくり		32回

こどもの本は

ミッケ！ シリーズ

ウォーリーのぼうけん

かいけつゾロリ シリーズ

等が平均60回以上で

上位を占めました。



後記

福崎町立図書館は4月に新人3人が加わり、新たに2007年度のスタートをきりました。利用者に親しまれ、何度でも来なくなる図書館をめざし頑張ります。よろしくお願ひいたします。

- ・みなさんに気持ちよく図書館を利用して頂けるよう、笑顔で頑張りますのでよろしくお願ひします。(U・M)
- ・「知」を得る場所、また人と触れ合える、気軽に足を運んでもらえるような場にしたいと思ひます。(U・K)
- ・たくさんの方に利用していただき、町の輪・和の中心となるような図書館を作っていきたいです。(H)